

令和7年度 大田区区民協働推進会議（第1回）

日時：令和7年4月24日（木）

場所：消費者生活センター第5集会室

【議題】

- 1 令和7年度地域力応援基金助成事業スタートアップ助成、ステップアップ助成〔新規〕審査員の選定及び審査スケジュールについて
- 2 令和7年度区民協働推進会議のスケジュール及び調査研究について
- 3 その他

【出席者】

委員：中島、牛山、藤本、安武、石垣、濱住、浜、阿部、卯月、村田

事務局：地域未来創造部長、区民協働・多文化共生担当課長、区民協働・多文化共生担当係長、
区民協働・多文化共生担当1名、協働推進アドバイザー1名

【会議要旨】

● 会議の開催

日本生命保険相互会社東京ベイエリア支社 久保委員 欠席

第一生命保険株式会社 渡瀬委員 欠席

大田区社会福祉協議会事務局長 近藤委員の代理で社会福祉協議会 大淵次長が出席

出席者が過半数に達したため大田区区民協働推進会議運営要綱第6条の規定に基づき、会議は有効に成立

● 会長・副会長の選出

大田区民協働推進会議運営要綱第5条により、委員の互選によって決定

石垣委員より中島寿美委員が会長に推薦され、委員全員の拍手により決定

会長より牛山委員が副会長に選任

● 令和7年度地域力応援基金助成事業スタートアップ助成、ステップアップ助成〔新規〕審査員の選定及び審査スケジュールについて

【事務局説明】

地域力応援基金助成事業は平成21年から実施している区民協働の主幹事業である。区民や事業者からお寄せいただいた寄付金を積み立て、地域力応援基金という形に基金を活用し、区民活動団体が取り組む、公益性があつて地域への貢献につながる事業に対して資金の助成という形で支援する。スタートアップ助成、ステップアップ助成、チャレンジ助成、チャレンジプラス助成、以上の四つのメニューで実施している制度である。

スタートアップ助成は、団体を始めて間もなく、申請時において設立から6年未満の団体様

に向けて、事業を開始するに当たって活動資金の助成をする制度であり、1月27日から2月26日まで募集をした。

ステップアップ助成は、スタートアップ助成よりちょっとステップアップするような位置づけであり、申請時において2年以上の団体が対象である。先ほどのスタートアップ助成が団体を始めて、その後、活動基盤となる事業に対して助成するものだが、その活動基盤になる事業は既に実施しているような団体が、さらにその事業を発展させていくようなものに助成していくというのがステップアップ助成であり、1月27日から3月5日まで募集をしていた。

この後、書面の審査並びに面接審査を経て、令和7年度実施の事業、採択団体をこの会議体で決定していくというような運びとなっている。

スケジュールは、書類審査を通過した団体が2次審査で令和6年6月の面接審査に進む。書類審査と面接審査を経て採択候補団体が決まった後、令和7年6月27日金曜日実施予定の第2回区民協働推進会議で審査結果を諮り、結果を区長へ推薦し、採択団体を決定する。

審査委員と申請している団体に利害関係がある場合は別途調整する。

地域応援基金助成事業のチャレンジ、チャレンジプラスも審査は実施するが、また改めて審査員を設定する。

● 令和7年度区民協働推進会議のスケジュール及び調査研究について

【事務局説明】

分科会委員は、別途委員の中から選出し、さらに議論を深めていただこうと考えており、決まり次第連絡する。

調査研究テーマについて振り返ると、5、6年度は課題等を抱えている団体の活動や、団体間の連携とそれを支える中間支援機能を研究してきた。3、4年は、高齢化、人口減少社会を見据えた連携・協働の在り方を研究してきた。

現在の社会状況を見ると、区では昨年3月に大田区基本構想を策定し、課題としてつながりの希薄化、担い手不足を提起している。こういった課題に対して、区としてあるべき将来像、あるべき姿ということで、持続性や、次世代にどうやってつないでいくか、引き継いでいくかが課題としてあるのではないかと考えている。

以上を踏まえて、過去の地域力応援基金を活用して活動している団体の現在の状況について、実態把握（数字的な把握、実例、成功事例、失敗事例、反省点）を調査研究のテーマとしてはどうかと思う。その中で、今後の区民協働団体の活動として、次世代につないでいくための運営方法、運営に関する支援策、そのような方向性を調査研究として導き出せたらと考えている。

具体的には、6月27日の区民協働推進会議で絵として示せればと考えている。また、他にも、何かテーマでこういったものがというものがあれば、事務局にお声かけいただきたい。

【濱住委員】

助成金の期間だけ協力するのではなく、終わってから実装するような団体の取組も非常に大事だと思う。実態把握してなくなっている団体もいらっしゃると思うが、まずは実態を把握しながら、対策を取るのが非常に良いと思う。また、区民フォーラムが池上会館で実施された際、開かれた審査と感じた。団体の方も頑張っており、審査ってこういうふうにやるんだということが改めて分かり、非常に良かったので参考にしていいただければと思う。